

2巡目を迎えた安全キャラバン

平成12年7月に日本原燃(株)、原燃輸送(株)において第1回安全キャラバンを開始以降、毎月2～3回のペースで実施してまいりましたが、平成14年5月の東北電力(株)女川原子力発電所で、全36会員に対する安全キャラバンが1巡しました。

会員の専門家とNSネット事務局が会員の事業所を訪問し、安全講演、意見交換を通じて安全意識の徹底と安全文化の向上を目指す安全キャラバンも5月の原子燃料工業(株)より2巡目を迎え、さらなる安全意識の徹底と安全文化の向上を目指すため、1巡目のアンケート結果等を踏まえ、より効果的な活動となるよう実施内容を見直しました。



▲安全キャラバンにおける講演会の様子(第37回(株)神戸製鋼所)

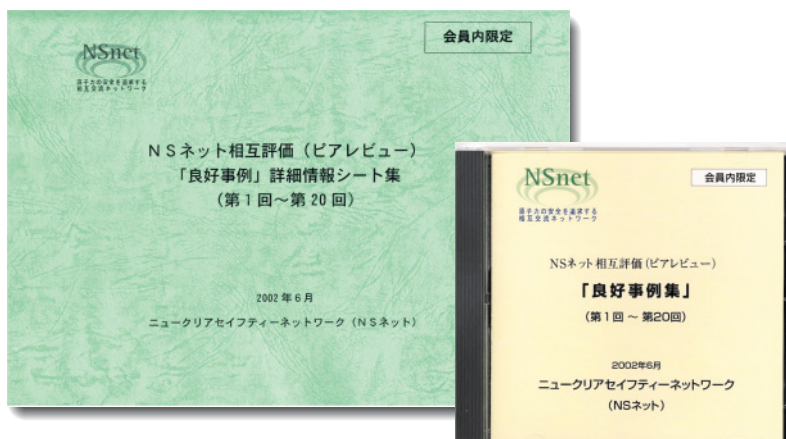
〈見直し点〉

- ①相互評価において抽出された良好事例の水平展開を目的とし、訪問先の希望を踏まえ、該当する良好事例の抽出元、もしくはNSネット事務局から、事例紹介を行う。
- ②「訪問先側からの安全活動の紹介」は、「原力安全文化の醸成活動」を統一テーマとし、具体的に紹介いただく。
- ③「意見交換会」について、よりテーマを絞り込んだ、安全に関する「情報交換」の場とする。

良好事例集の制作および配布

これまでの20回のピアレビューにおいて見出された356件の良好事例を対象として「詳細情報シート」を冊子としてとりまとめ、CD-ROMとともに全会員に配布しました。

NSネットの中心活動の1つである相互評価(ピアレビュー)は、原子力産業界全体で安全文化を共有化し、切磋琢磨して全体のレベルアップを図っていくことを目的として、平成12年4月より核燃料施設や原子力発電施設などの原子力施設を有する事業所を優先して平成13年度までに20回実施してきました。この間、各会員より派遣いただいたレビュー者の方々のご努力及びホスト事業所の方々のご協力により、356件もの良好事例が抽出されています。



安全キャラバンの実績

今回は第35回から第39回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページ(<http://www.nsnnet.gr.jp>)をご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
35	5月29日	原子燃料工業(株) 東海事業所	(財)電力中央研究所 ヒューマンファクター研究センター 上席研究員 長坂彰彦氏	リスク評価に関する雑感と安全配慮 実践例
36	5月31日	東北電力(株) 女川原子力発電所	元日本原子力発電(株) 最高顧問 板倉哲郎氏	原子力安全の心構え
			三菱電機(株) 原子力品質保証部 部長 白石康夫氏	三菱電機における現地作業での安全・ 品質向上活動について
37	6月14日	日立造船(株) 有明機械工場	四国電力(株) 原子力保安研修所 次長 田辺進氏	人間を造った神が詫びている
38	6月20日	(株)神戸製鋼所 高砂製作所	中部電力(株) 原子力研修センター 所長 江本元宣氏	安全を守るために —浜岡原子力発電所の取り組み—
39	7月18日	(株)東芝 京浜事業所	日本原子力発電(株) フェロー 乙葉啓一氏	安全文化の一考察
			日本原子力研究所 安全管理室 室長 野村正之氏	日本原子力研究所における 防護活動について



▲ 長坂 氏

リスクアセスメントは1回分析した
だけで終わりではなく、技術や新
しい解決法が時と共に見つかる
ことがある。このため、絶えず見直
しをしていくことが必要。



▲ 板倉 氏

皆さんは本当に人類のために原
子力の仕事をしているのだという
自覚を持っていただきたい。



▲ 白石 氏

現地作業ミス防止活動を進めていく上で大事な
ことは「約束を守ること」「やると決めたことを継
続させること」であり、教訓の風化や活動のマン
ネリ化を防ぎ、「基本の実践」を徹底させることが
重要である。



▲ 田辺 氏

「これからも世界のため、地球のため、平和のた
めとか言うとオーバーになるが、そういう気持ちで、
一人ひとり責任を持って仕事をする。」というこ
とが大切ではないかと思う。



▲ 江本 氏

風通しの良い職場とするためには、物事をオー
プンにすることであり、何かミスをすればそれをオー
プンにし、謙虚に反省し、再発防止に全力を
尽くすことが重要であると思う。



▲ 乙葉 氏

様々なトラブルを経験した結果、ト
ラブルが発生したときには、データ
はできるだけ自分の目で確認する
ことが重要であると考えます。



▲ 野村 氏

原子力の安全確保のためには、
事業者自らの安全意識、安全活動、
事故に対する備えが必要であるが、
万が一、事故が起きた場合の原
子力事業者の積極的な支援、協
力が大切である。

評議員会の開催について

平成14年7月5日、東京都千代田区の経団連会館において、NSネットの第5回評議員会を開催しました。本評議員会では、平成13年度の活動実績、平成14年度の活動計画を中心に、各評議員からたくさんのご意見をいただきました。

〈主なご意見〉

- 企業倫理プログラムの確立については、NSネットにおいて、企業倫理の重要性を強調し、各会員の企業倫理への取組みを促していくことは重要である。
- 企業倫理プログラムは、組織が内部の問題点を的確に掌握し、迅速に対応していくこと、そして、意思表示ができる仕組みと問題を吸い上げる組織のあり方が重要である。また、企業倫理は、企業トップがきちんと身に付けておかなければならないものであり、それが社内全体に浸透していくポイントになる。
- ピアレビュー全体の流れ等を模式図にし、ピアレビューの報告書やNSネットのパンフレットに記載することにより、透明性が高まる。
- 事故等の発生を受けて、レビューのガイドラインを見直した場合、NSネットとして対応した内容を、ホームページで分かるようにした方がよい。
- レビューを実施したにもかかわらず、予想を超えて、評価、確認していないところでトラブルが起こってしまったことについては、教訓として、自分達が求めていく知識の上に積み重ねていく義務がある。
- 安全管理活動に関するパフォーマンス指標は、「これらのデータをモニターしていけば、トラブル発生の予測がつく、新しい試みである」という趣旨で捉えた方がよい。
- パフォーマンス指標の分類については、分類ごとの視点、内容が明確となるよう、体系的な分類の説明、分類名称の工夫が必要である。



▲ 評議員会全景



▲ 牧野理事長

▲ 石井座長

安全キャラバンの今後の予定

今後、以下のとおり安全キャラバンを予定しています。安全キャラバンの様子はNSネットのホームページにおいて随時紹介していきます

回	実施時期	訪問事業所	安全講演会講師派遣元
40	平成14年8月	北陸電力(株)	三菱重工業(株)
41	平成14年9月	日本原子力研究所	関西電力(株)
42	平成14年10月	中国電力(株)	核燃料サイクル開発機構
43	平成14年10月	東京電力(株)	三菱原子燃料(株)
44	平成14年11月	核燃料サイクル開発機構	東京電力(株)
45	平成14年11月	中部電力(株)	(財)電力中央研究所
46	平成14年12月	住友金属鉱山(株)	日本原燃(株)
47	平成15年1月	関西電力(株)	(株)日立製作所
48	平成15年2月	日本原子力発電(株)	石川島播磨重工業(株)
49	平成15年3月	九州電力(株)	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

*実施時期等は、都合により変更となる場合もあります。

相互評価（ピアレビュー）の実施状況

今回は第22回レーザー濃縮技術研究組合で行われたピアレビューの状況を紹介します。
ピアレビューの概要および報告書の全文をNSネットホームページに掲載していますのでご覧ください。

平成14年5月28日から30日にかけて行われた第22回のピアレビューには、北陸電力(株)、日本核燃料開発(株)、北海道電力(株)、三井造船(株)、(株)日立製作所の専門家(計5名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重大事故防止の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、東海濃縮実験所では、昭和62年4月の設置以来、15年間にわたり「無事故・無災害」を継続しており、この無事故・無災害を今後も継続すべく、安全確保に所長が率先垂範して取り組んでいる様子が確認されました。



▲ 報告書の提出
牧野理事長(写真左)より
レーザー濃縮技術研究組合榎本理事長(写真右)へ

主な良好事例

- 延べ15年間の無事故・無災害の達成
- 濃縮試験におけるヒューマンエラー防止対策の積極的な採用
- ウラン廃棄物の保管廃棄における工夫
- ウラン屑に対する多重の火災防止対策

主な改善提案

- 地元地域や一般へのタイムリーな情報発信
- ヒヤリハットや他施設トラブル事例等の水平展開システムの創設
- JCO事故の教訓を踏まえた倫理教育等の教育カリキュラムへの追加

パネル展示状況

今年3月に制作したNSネット紹介パネルは会員のPR館や事務所等計69箇所を設置いたしました。また、あわせて一般の方々向けに新規に作成したパンフレットも配置しています。

これからも、NSネットの活動を広く知っていただくよう紹介していきます。



▲ 中部電力(株) 浜岡原子力発電所



▲ 三菱原子燃料(株)



▲ 核燃料サイクル開発機構
人形峠環境技術センター

お知らせ

平成13年度年報を発行しました。
ぜひ、ご一読ください。



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.14 2002年8月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnnet.gr.jp>



古紙利用率100%再生紙を使用しています